

《参考》

表2 飛散花粉数の多い日の予測

	2025年予測	2024年	過去10年平均 (2015～2024)
区部	37	39	37
多摩地域	46	40	33
都内平均	42	39	35

(単位は日数)

○ 飛散花粉数が多い日の定義

飛散花粉数が多い日とは、花粉捕集器を用い、捕集した花粉の数値が1日あたり30個／平方センチメートル以上の日としています。

飛散花粉数の表示ランクについて、1日あたりの飛散花粉数が10個未満を「少ない」、10個以上30個未満を「やや多い」、30個以上50個未満を「多い」、50個以上100個未満を「非常に多い」、100個以上を「極めて多い」という5つの区分となっています(図2)。

なお、この表示ランクは、日本花粉学会「花粉情報等標準化委員会」において、採用されているものと同じ区分になっています。

図2 花粉数の区分

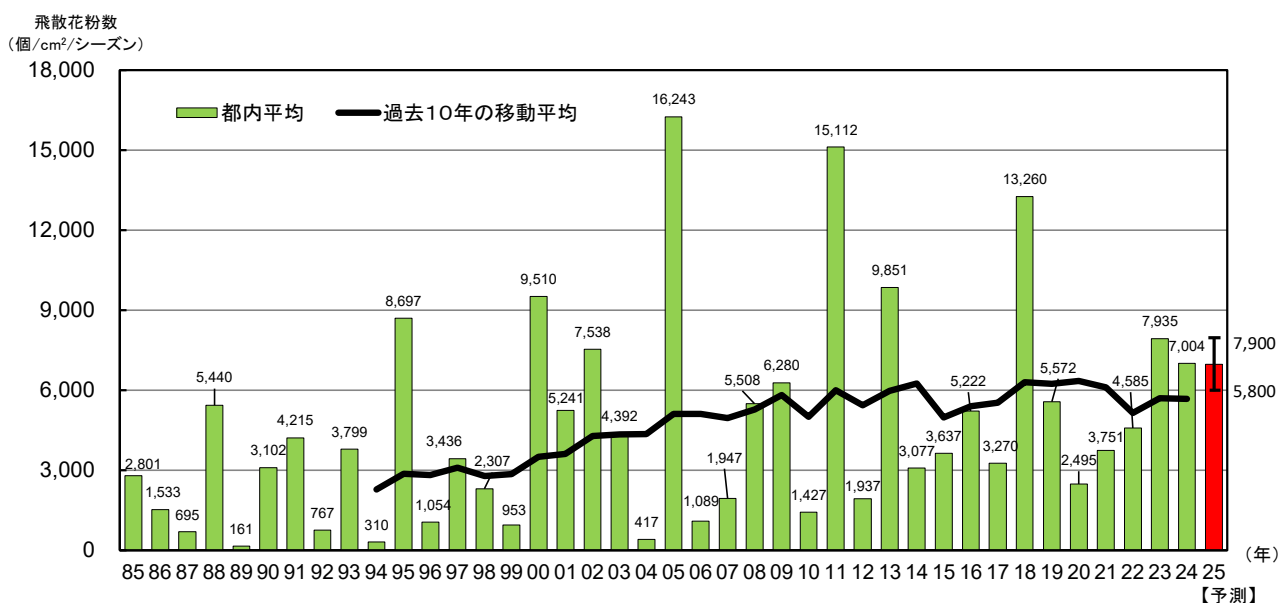
区分	ダーラム法による測定 (個/cm ² ・日)
少ない	10個未満
やや多い	10個以上～30個未満
多い	30個以上～50個未満
非常に多い	50個以上～100個未満
極めて多い	100個以上

○ 飛散開始日の定義

一観測地点で、1月以降にスライドガラスの1平方センチメートル内にスギ花粉が1個以上捕集される日が、原則として2日以上続いた最初の日としています。週末や祝祭日によって数日(N日)の合計値の平均が1個以上になった場合も初日を飛散開始日とします。(日本花粉学会「花粉情報標準化委員会」の合意事項に準拠)。

なお、飛散開始日以前にも少量の花粉が飛散しています。

図3 飛散花粉数の経年変化※4



※4 1990年に千代田で測定開始、1997年に小平で測定開始、2005年に多摩、立川、府中で測定を開始しました。2005年以降は、現在の12地点で測定を行っています。